



はくい 石川県 羽咋市

姉妹都市

はくい

ライトアップされた LAKUNA はくい遊歩道



トキの色で夜を照らす

トキ放鳥に向けたライトアップ

本州初となるトキの放鳥を1カ月後に控えた4月下旬、羽咋駅前のにぎわい交流拠点であるLAKUNAはくいの遊歩道で、トキの翼をイメージした「トキ色」のライトアップが行われました。また、ライトアップに合わせて、石川県のトキPRキャラクターである「のとっきー」も映し出されました。

点灯式には大勢の見物客が参加し、通常のイルミネーションとは違う「トキ色」に輝く遊歩道を眺めながら、トキ放鳥への思いを寄せました。



トキPRキャラクターの「のとっきー」

教えて！消費生活

クーリング・オフについて

A 契約書面を受け取った日から8日以内に申し出れば無条件で解約できます。解除通知書（証拠のため両面をコピー）を特定記録郵便などで送るか、メールなどの電磁的記録（証拠のため送付画面を保存）を送ります。クレジット契約をした場合は、クレジット会社にも申し出ます。

その他にもクーリング・オフでは、支払った代金があれば全額返金され、商品を受け取っている場合は事業者負担で返品・引き取りが行われます。既に工事が行われた場合は、無料で原状回復（元の状態に戻すこと）を請求できます。

消費生活センターでは、解除通知書作成の手伝いをしていますので、相談してください。

Q 3日前、突然業者が訪問してきて床下の点検を無料でしてくれるというのでお願いした。点検の結果、湿気対策をしないと家が腐ると言われ、50万円の工事請負契約をした。しかし、冷静に考えるとそんな大金はなく断りたい。契約書に「クーリング・オフ」の記載があるがどのようにすればよいか。

消費生活の相談は市消費生活センター ☎fax 兼用 201133 (来庁相談要予約) 相談時間 平日午前9時～午後4時

ふじおか Culture

～藤岡の文化を探る～

No.116

【問い合わせ 文化財保護課 (☎235997)】

白石稲荷山古墳の新発見

～古墳の形の謎に迫る～

国史跡の白石稲荷山古墳は、5世紀前半に造られた約150mの前方後円墳です。令和7年度の発掘調査の成果が、今年2月に複数のメディアで取り上げられました。改めて、その成果を紹介します。

これまで、白石稲荷山古墳を上から見た形は、前方部の角が西側に張り出す不定形になるというものと、きれいな前方後円墳の形になるという二つの意見が出され、研究者の間で議論が続いてきました。



白石稲荷山古墳(奥)と盛土(手前)

この議論の争点は、古墳の西側にある土の盛り上がり(もり上がり)を古墳の一部と考えるかどうかであったことから、発

掘調査を実施しました。

調査を進めたところ、この土の盛り上がり(もり上がり)が黄色と黒の2色の土を交互に積み重ねた盛土(もりど)であることが判明しました。また、この積み重ね方は古墳造りの際によく見られる方法であること、積み重ねた盛土の中から白石稲荷山古墳と同じ、もしくは少し古い時期の土器の破片のみが出土すること、盛土の上から埴輪(はじり)がまとまって出土することなどから、この盛土は白石稲荷山古墳と一体で造られた可能性が高いことが分かりました。この調査によれば、古墳が西側に張り出していると考えられそうです。

しかし、群馬県では古墳外面を石で覆う葺石(みきいし)が一般的ですが、今回調査した盛土部分には葺石がなく、古墳そのものとは異なるとも考えられます。1万基以上の古墳が造られた群馬県域では同じ構造の古墳がなく、今後も慎重に調査を続けていく必要があると考えられます。

ごみを減らす・分ける・生かす

—安心して生活できる環境を次世代へ—



第3回 紙は分ければ資源です

紙は資源ごみとして出すことで、新たな製品に生まれ変わる大切な資源です。しかし、紙は可燃ごみとして出されてしまう場合が多く、資源として生かすためにも分別が大切です。分別するときには大切な「資源になる紙」と「資源にならない紙」を見分けることです。正しく分別することは、資源を生かすだけでなく、ごみを減らすことにもつながります。「これは資源になるかもしれない」と意識することがリサイクルの第一歩になります。

◆資源になる紙

- ▷古紙=新聞紙・雑誌・段ボール・牛乳パックなど
- ▷雑がみ=チラシ・コピー紙・包装紙・紙袋・紙箱など

◆資源にならない紙

- ▷汚れや臭いの付いた紙・紙コップ・レシート・圧着はがきなど

◆出し方

「資源になる紙」は、ひもでしばったり紙袋や段ボール箱にまとめて、**ごみ出しカレンダーの緑色の日**に出してください。「資源にならない紙」は、可燃ごみ専用のごみ袋に入れて、**ごみ出しカレンダーの桃色の日**に出してください。



〈知ってもらいたい「ごみ」のこと〉

清掃センターで回収する可燃ごみの中で、「紙・布類」の割合は24.5%と2番目に多くなっています。住民の皆さんが高い割合を占める紙類の分別に意識を持つことは、焼却コストの削減と新たな資源を生み出すきっかけになります。

問い合わせ 清掃センター (☎238305)